

2021年9月6日

学長会議承認

学生の皆さんへ

東京都市大学

副学長（総括・教育担当）

大上 浩

令和3年度 第3クォーターの授業開講方針について

新型コロナウイルス感染症については、未だ油断できない状況が続いています。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県においては緊急事態宣言が発令中であり、その期間は9月12日(日)までとされていますが、延長される可能性が高まっています。また、解除された場合でも、感染力の強い変異株の拡大により、感染者数の推移については予断を許さない状況にあります。

本学では、学生の皆さんがキャンパスで対面型授業を受け、学修活動を活発に行えるように、できるだけ速やかに、本来の大学としての「学びの場の姿」に戻したいと考えております。今後の状況に対応した変更を前提としながら、現時点では学生の皆さんの安全を第一に考え、学長会議では、第3クォーターの授業開講方針を次のように定めます。

ステージ	授業内容と授業形態
0	すべての科目を対面授業。
1	可能な限り対面型授業。ハイブリッド型授業を併用。
2	原則としてハイブリッド型授業。実験・実習・実技科目等を対面授業。
3	原則としてオンライン（遠隔）型授業。実験・実習・実技科目等を対面型授業。
4	すべての科目をオンライン（遠隔）型授業。

本方針の発出段階の状況は、ステージ4（全ての科目をオンライン<遠隔>型授業。）相当であると判断し、以下の通りに授業開講方針を定めることとします。

なお、今後の感染状況に応じてステージを段階的に移行し、ハイブリッド型授業にすることを予定しています。学内でのPCR検査体制も整備し、より安心・安全な環境で授業や研究に取り組めるように準備を進めています。詳細は追って発表しますので、学生の皆さんも、大学からの連絡に注意するようにお願いします。

第3クォーターの授業開講方針（9月22日（水）～）

ステージ4：すべての科目をオンライン（遠隔）型授業

- すべての科目をオンライン（遠隔）型授業とします。
- 教員は教室、居室または自宅等においてオンライン型授業を実施します。
- 授業はすべて録画し、何度でも視聴できるよう履修学生に開示します。
- 学生は、授業を自宅等学外からオンラインで受講することとなりますが、ネット環境等の事情により学内での受講が必要な場合には、許可制によりこれを認めます。

1. オンライン型授業の実施について

- ▶ すべての科目をオンライン（遠隔）型授業とします。
- ▶ ネット環境等の事情により学内での受講が必要な場合には、許可制によりこれを認めることがありますので、教育支援センターの指示に従ってください。

2. タイムテーブルについて

- ▶ 特例措置として、始業時間を 9:30 とすると共に、授業時間を 90 分×14 回とし、終業時間を早めます。タイムテーブルは次の通りです。90 分×15 回を想定している標準的な大学と比べて授業時間が 90 分間少ないですが、これについては、授業中に課すものに相当する課題研究等に代替すること等により、必要な学修時間を確保することとします。

1 時 限	9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0
2 時 限	1 1 : 1 0 ~ 1 2 : 4 0
3 時 限	1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0
4 時 限	1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 4 0
5 時 限	1 6 : 5 0 ~ 1 8 : 2 0

※ 休憩時間を従前どおり 10 分、
昼休みは 50 分とします。

3. 研究活動について

- ▶ 4 月 19 日（月）付「新型コロナウイルス感染防止のための研究室（実験室）利用ガイドライン」の内容により、活動を認めることとしますが、学生の研究に関する申請可否の内容が 9 月 6 日（月）以降より変更となります。詳しくは、「学生の研究に関する申請可否一覧（9/6 以降）」をご覧ください。

4. 後期オリエンテーションについて

- ▶ 9 月 22 日（水）に行われる後期オリエンテーション内の各種ガイダンスについても全てオンライン型により実施します。

5. 履修登録等について

- ▶ 後期履修登録期間は、9 月 28 日（火）～30 日（木）ですが、学生の皆さんは授業開始の 9 月 24 日（金）に先駆け、履修を希望する授業科目については、WebClass でコース登録を行い、Zoom のミーティング ID や教材等の取得ができるよう準備してください。（なお、Webclass でのコース登録は暫定的なものです。上記期間中に忘れずに履修登録してください。）

6. そのほか

- ▶ 大学院科目についても、本方針に準ずることとします。
- ▶ T A P 語学準備講座などの授業外の学習については、本方針に準拠しつつ適切に対応するものとします。

以上

新型コロナウイルス感染防止のための研究室（実験室）利用ガイドライン(2021.4.19 版) Laboratory usage guidelines for preventing new coronavirus infection

副学長(研究担当) 野中 謙一郎
Vice-president (in charge of research) Kenichiro Nonaka

下記は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の下で、研究室や実験室を可能な限り安全に利用するための、注意事項をまとめたものです。感染防止のために遵守してください。ソーシャルディスタンス等一般的な感染症予防策を取っていることを前提としています。

The following is a summary of precautions for using laboratories and laboratories as safely as possible under the State of Emergency Declaration or stricter measures to prevent the spread of the virus. Please observe to prevent infection. It is assumed that general infectious disease prevention measures such as social distancing are taken.

要点 Summary

- ✓ 毎日の検温・マスク着用・手洗い等基本的感染予防策の徹底
Basic infection prevention such as daily temperature measurement, wearing a mask, and washing hands.
- ✓ 発熱・体調不良などの場合は登校しない
Do not go to school if you have a fever or feel unwell.
- ✓ 研究室内で密を避け、小まめに換気・消毒。発表会はオンライン
Avoid denseness in the lab and diligently ventilate and disinfect. Presentations must be online.
- ✓ 対面での飲食は厳禁
Face-to-face eating and drinking is strictly prohibited.
- ✓ 実験室などの共用部分は小まめに消毒
Diligently disinfect common areas of laboratories
- ✓ 自宅で作業できる場合は自宅で研究活動
Research activities at home if you can work at home

研究室(実験室)利用時の教員・学生の留意事項 Precautions for faculty/students when using the laboratory

1 健康管理 Health care

- 教員・学生間で速やかに連絡が取れるような通信手段（携帯電話や SNS 等）を確保する。
Prepare communication means (mobile phones, SNS, etc.) that allow faculty members and students to quickly contact each other.
- 毎日検温するなど健康をチェックし、都市大アプリに登録する。厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA)も利用する。一週間以内に発熱や体調不良の自覚がある場合は登校しない。
Perform health checks such as measuring body temperature every day, and register with the Tokyo City University app. Also, use the new Coronavirus Contact Confirmation App (COCCA) of the Ministry of Health, Labor, and Welfare. Do not go to school if you are aware of fever or poor physical condition within a week.
- 新型コロナウイルスの罹患が判明した場合には、学生は学生支援センターと指導教員に連絡する。指導教員は学生支援センターと連携して、学内や研究室における濃厚接触者を把握する。
Students should contact the Student Support Center and their academic advisor if they are found to be affected by the new coronavirus. The academic advisor will cooperate with the Student Support Center and identify the close contacts on campus and in the laboratory.

2 研究室・実験室の利用 Use of laboratories

- マスク、消毒用アルコールを完備し、マスク着用・手洗い・消毒を励行する。
Equipped with a mask and rubbing alcohol, wear a mask, wash your hands, and disinfect.
- 各人が「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」回避に努める。
Each person strives to avoid three Cs (closed space, dense place, close scene)
- 3密回避のため、必要に応じビニールカーテンにより、学生の席や実験装置ごとに仕切りをする。
To avoid the 3Cs, vinyl curtains will be used to partition each seat and experimental equipment.
- 研究室・実験室を定期的に換気する。(1~2時間毎に5~10分以上)。可能なら常時開放する。
Ventilate the laboratory regularly. (5-10 minutes or more every 1-2 hours). Always open if possible.
- ドアノブやテーブル、PCのキーボードやマウスなどの共用部分は定期的に消毒する。
Regularly disinfect common areas such as doorknobs, tables, PC keyboards, and mice.
- 学生の座席や共有スペースの座席が密にならないように、間隔を十分に確保する。
Make sure there is enough space between the student seats and the seats in the common space.
- 対面で飲食をしない。
Do not eat or drink face-to-face.
- 可能な範囲で装置のリモート運転化を進める。
Promote remote operation of equipment to the extent possible.
- 実験室内にて作業着、スリッパ等を利用する研究室では、極力個人専用のものを用意し、それらではできるだけ清潔を保ち、定期的にクリーニングをする。
In the laboratory where work clothes, slippers, etc., are used, prepare personal items as much as possible, keep them as clean as possible, and clean them regularly.
- 実験室内で、器具洗浄、試薬棚、乾燥機などの共通設備の動線に配慮する。
Consider the flow lines of common equipment such as equipment cleaning, reagent shelves, and dryers.
- 実験装置等は、誰がいつ利用したかを必ず記録に残す(利用ログノート)。
Be sure to record who used the experimental equipment and when (use log note).

3 研究指導やゼミ、発表会など Research guidance, seminars, presentations, etc.

- 研究室・実験室などの同時利用者数を平時の50%以下になるようにする。研究・実験のシフトを組む・自宅で作業するなどの工夫をする。
Keep the number of simultaneous users in laboratories to 50% or less of normal times. For example, divide the members into groups and use the lab in turn, work at home, etc.
- 研究室への学生の入退室は指導教員が管理し、入構時には、必ずICカードによる登録を行う。
The instructor manages the entry and exit of students into the laboratory, and when entering the laboratory, be sure to register with an IC card.
- 一室に集合してゼミ等を行わず、特に必要でない限り、オンラインでのミーティングとする。
Do not gather in one room for seminars, etc., and hold online meetings unless otherwise required.
- 卒論・修論等の発表会はオンラインで行う。
Presentations such as thesis and master's thesis will be held online.
- 研究計画は、学生の事情や感染症の流行状況に応じて柔軟に調整し、学生のメンタルケアを心掛ける。
The research plan should be flexibly adjusted according to the circumstances of each student and the epidemic situation of the infectious disease, and the mental care of the student should be kept in mind.

変更履歴

2020年5月23日 初版（総合研究所）

2020年11月23日 改訂

2021年01月09日 改訂. 要点を追加.

2021年01月10日 短縮. 日英対応.

2021年04月19日 改訂

学生の研究に関する申請可否一覧（9/6以降）

…変更箇所					
	学年	従来	9/5まで	9/6以降	備考
学内研究室の使用	学部3年生	○	×（原則不可）	○（平時の50%以内）	可能な範囲で学生のワクチン接種状況を把握し、特にワクチン接種完了（2回目接種後2週間経過）していない学生や接種を確認できない学生には、感染や重症化リスクが高いことを説明し、一層の感染防止策を講じさせた上で申請をしてください。 その際には、接種有無の把握や説明では、いわゆる「ワクチン差別」にならない様に十分にご注意をお願い致します。
	学部4年生	○	×（原則不可）	○（平時の50%以内）	
	大学院生	○	×（原則不可）	○（平時の50%以内）	
	申請書類	不要（休日・夜間は要申請）	研究室・実験室等使用願（2021.8.9～）	研究室・実験室等使用願（2021.9.6～）	
学外での研究 （旅費の支給有）	学部3年生	○（研究室配属学生のみ）	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	【学外研究における宿泊】 やむを得ない事情があり、学外で研究を行う場所における感染予防対策が十分に講じられていることを指導教員が確認できる場合に宿泊を認めます。
	学部4年生	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	
	大学院生	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	
	申請書類	旅費等申請書	旅費等申請書関係書類	旅費等申請書関係書類	
学外での研究 ・フィールドワーク ・外部研究所等での研究 （旅費の支給無）	学部3年生	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	【学外研究における宿泊】 やむを得ない事情があり、学外で研究を行う場所における感染予防対策が十分に講じられていることを指導教員が確認できる場合に宿泊を認めます。
	学部4年生	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	
	大学院生	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	
	申請書類	不要	学外研究実施届	学外研究実施届	
学外での実習・授業 （旅費の支給無）	全学年	○	×（原則不可）	○（宿泊は <u>原則不可</u> ）	【学外研究における宿泊】 やむを得ない事情があり、学外で研究を行う場所における感染予防対策が十分に講じられていることを指導教員が確認できる場合に宿泊を認めます。
	申請書類	SC・YC：合宿・研修・旅行・見学届 TC：学外授業の実施について	SC・YC：合宿・研修・旅行・見学届 TC：学外授業の実施について	SC・YC：合宿・研修・旅行・見学届 TC：学外授業の実施について	
オンラインでの 学会参加	学部3年生	—	○	○	
	学部4年生	—	○	○	
	大学院生	—	○	○	
	申請書類	不要	旅費等申請書関係書類	旅費等申請書関係書類	

※学会参加の領収書は、従来通り会計システムへ入力